

平成28年 第7回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成28年6月1日(水曜日) 午後1時30分開会/午後3時00分閉会
招集場所 中央図書館視聴覚ホール
教育長 山下修平
出席委員 篠原隆一、中西修一、酒谷百合子、山下裕嗣
会議列席者 梶谷事務局長、山田次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、崎田生涯学習課長、中田スポーツ課長、
畷崎文化財保護課長、前野中央図書館長、河崎屋山中図書館長、奥村マラソン開催推進室長、
渡部教育庶務課長補佐、

山下教育長 平成28年第7回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

今日は6月1日ということでちょうど衣替えの日であります。今年度早いものでもう2ヶ月が経ちました。今年度は4月当初より大きい大会がいっぱいあったなど。まず4月3日の成人式から始まり、11日に加賀温泉郷マラソン、これは残念ながら中止となりましたが、当日はボランティアの方や係員も大変なご苦勞でありました。それから19日には全国学力テストが行われ、5月に入ってからロボレーブアメリカ大会に5月4日から6日間、加賀市の子ども達7名を連れて行ってまいりました。それから14日からはかがっ子土曜スクールがこの日からスタートしました。17日からは計画訪問が始まり、いよいよそれぞれの学校に教育委員さんも一緒に回っていただくことになっています。25日から3日間は重伝建の全国大会、幸いに素晴らしい天気にも恵まれ、全国から参加の方々に2箇所の重伝建地区の視察をしていただきました。これからあと6月は3日からは議会が始まりますし、20日からは台湾から嘉義大学附属小学校がみえて、小学校の音楽会に参加するなど交流を持ちます。7月24日からはシンガポールの方に今度は中学生を派遣するなど、今年度は大変国際交流的なことが盛んに行われていると。本当に多忙な毎日が送られているという状況であります。

それでは会議を始めたいと思いますが、まず審議事項ですけど、議案第32号の加賀市立黒崎小学校の統合について、議案第33号の加賀市立学校設置条例の一部改正について、議案第34号の加賀市立学校通学区域規則の一部改正については関連しておりますので、一括で山田次長から説明をお願いいたします。

- 議案第32号 加賀市立黒崎小学校の統合について
- 議案第33号 加賀市立学校設置条例の一部改正について
- 議案第34号 加賀市立学校通学区域規則の一部改正について

山田次長 資料に基づき説明

山下教育長 まず議案第32号では黒崎小学校を橋立小学校に平成29年4月1日をもって統合するというのであります。議案第33号は今のことによって別表から黒崎小学校の項を削ると

いうことであります。議案第34号はこれに伴って通学区域の規則の一部改正ということで橋立小学校、橋立中学校の部分で黒崎町、片野町が抜けたということと、黒崎小学校が抜けたということでもあります。それから8ページ以降の一覧表に関しては、今の箇所と中点をとるということが変更になったところでもあります。この議案3つに関してご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員 非常に些細なことで申し訳ないですが、お話があった通学区域の変更のところ、中点をなぜとったのか理由があれば教えてください。

山本課長 はい、これはこういった法律なり、条例などを作るときのルールみたいなものがありまして、名詞が並んでいるものを表すときに、中点で繋がずに一文字空けるかたちで表すのが一般的というそういったルールに従ったものです。

篠原委員 従来、なぜ中点を入れたんですか。法律というものは決まりきったものなので、過去からそんなに変わる必要がないと思うのですが、あえて中点を入れたのは何か意図があったのか、単なるミスということですか。

山本課長 誤謬ととらえていただいていると思います。

篠原委員 わかりました。

山下教育長 他にありませんか。

中西委員 統合に伴ってなんです、片野町の小学生で錦城東小学校に通学している子どもが多いと思うんですが、今現在も錦城東小学校に行っているんですか。

山田次長 はい、今錦城小学校と錦城東小学校等に行っています。今は片野町から黒崎小学校に通っている子は1家庭2名のみとなっています。現実はそのいうふうになっております。

中西委員 続けてなんです、橋立小学校と統合になったときに、今錦城小、錦城東小に通っておられる小学生は、橋立小学校に通われる意思はないんですか。

山田次長 来年度新入生のご家庭の保護者にどちらに行かれますかとお尋ねをしてあるんですが、橋立小学校の方には来ないということでした。今現在、錦城小、錦城東小に通っている子に関しては、年度途中から違う学校に転校するということは非常に難しいということで、やはり橋立小学校の方には来ないということでございます。

山下教育長 よろしいですか。

中西委員 はい。

山下教育長 他にありませんか。

篠原委員 関連してお願いします。今、片野地区や黒崎地区の子ども達については、橋立小学校へ通うときにはバス等の通学保障があると思うんですけども、現実問題として、片野町あるいは黒崎町から校区外に行っている子ども達については、こういう保証はないというふうに捉えればいいですか。

山田次長 はい、ございません。

篠原委員 はい、わかりました。

山下教育長 他にありませんか。それではこの3点関連しておりますので、議案第32号、議案第33号、議案第34号一括して採決をしたいと思っております。賛成の方は挙手をお願いします。

委員 全委員挙手

山下教育長 全会一致で可決といたします。続いて議案第35号、平成28年度6月補正予算要求につい

て山本課長お願いいたします。

- 議案第35号 平成28年度 6月補正予算要求について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 6月補正予算要求について学校指導課から2つ、スポーツ課から1つ出ております。まず黒崎小学校の閉校関連事業についてご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員 お願いします。スクールバス待合所整備費のところ、黒崎町は黒崎町公民館の敷地内と書いてありますが、先ほどの山田次長のお話によれば来年度は片野町はないとしていますけれども、将来的には片野町から橋立小学校へ通う児童もいるのではないかなと推測されます。その折にはこのような整備などは行うのか、行わないのか、あるいはもし行うとしたら、今の間にしておいた方が予算的にもいいのではないかなと思われそうですがいかがですか。

山下教育長 事務局、今の件に関してお願いします。

山田次長 現時点では通う子どもがいないということで、子どもがいないときにそういう施設を作るというのは説明もできないし、おそらく難しいのではないかなと思います。将来的に片野の町在住の児童が橋立小学校に通いたいと、スクールバスをそちらで回してほしいと、待つ場所も吹きさらしでは可哀想だという状況が生まれましたら、その時に予算計上を行って施設を作るということも考えていきたいというふうに思っております。

篠原委員 ありがとうございます。関連して、学校には校区というものがありますので、校区の子ども達を適正な学校に入れるということ、教育委員会として指導していかなければならないと思うんです。今のところ現状としては片野の子ども達がほとんど校区外の学校に行っていますので、非常に課題はあるだろうと思いますけれども、教育委員会としての指導というか、今後橋立小学校も段々減っていくし、中学校もそれにつれて減っていくと思います。小学校から中学校へあがるとき、ある程度まで比較的校区外に自由になってきますので、いろんな諸事情によっていろんな中学校へ行っている実態もありますけれども、これはある程度の校区内の学校に通うよう指導しないと。ひとつこの機会ですから、そういうスクールバスの整備もするので、その学校に行きませんかというようなご指導というか、呼びかけを是非教育委員会の方でしていただけないかなと思います。これは意見です。

山下教育長 他にありませんか。

酒谷委員 はい、スクールバスというのは、例えば何人からスクールバスを設置するかという規則はないんですか。

山田次長 スクールバスを動かす基準としては4キロメートル以上というような規定がございます。片野町から橋立小学校までが4キロちょっと出るくらいなので、現状で黒崎から片野に行かずに、黒崎から橋立小学校までとなると4キロはきれる訳でございますが、片野も校区であるということで通わない子どもが絶対に出てこないということもないということで、スクールバスを動かすということでございます。ただ決まりというのはそのようなかたちになっております。

酒谷委員 もうひとついいですか。スクールバスを運転なさる方というのは、その方の費用とかはどうなんでしょう。

山田次長 それはシルバーの方が運転手として雇用されるということで、これ以外のところで予算計上をすると。ガソリン代、車検代等は今回の補正ではなく、平成29年度の当初予算で打つということでございます。

篠原委員 関連していいですか。スクールバスの購入費が650万と言ったらマイクロバスになりますか。その新車ということですか。

山田次長 これは29人乗りのマイクロバスの新車ということでございます。

山下教育長 他ございませんか。黒崎小学校関係はもういいですか。ではエネルギー教育推進事業についてご意見、ご質問ございませんか。

中西委員 はい、エネルギー教育推進事業で、ここでいうエネルギーというのは何エネルギーを指しているんですか。

山田次長 これは中学校の理科の1分野のエネルギーというカテゴリーの教科があるわけですが、ここで使う教具ということでございます。特に風力とか、火力とか原子力とかそういうような分け方ではなくて、教科の中で1分野の中のエネルギーの分野ということでございます。

中西委員 ということは、自然エネルギーに限った教育ということではないんですね。

山田次長 ではありません。

中西委員 東和中学校が購入希望していない理由はありますか。

山田次長 これは教具がその分野に関しては学校の方では揃っているということで、エネルギーに限っては充足しているので、特に希望しないということございました。

篠原委員 関連ですが、教育課程の中にエネルギー教育があると思うんですが、その時東和中学校は授業には差支えないということで理解してよろしいですか。

山田次長 はい、そうでございます。

山下教育長 他にエネルギー教育関係に関してございませんか。

梶谷課長 少し補足だけ、このエネルギーに限らず理科は理科教材の購入補助が小学校も中学校もあるんです。そちらの方でもし買っておれば、分野にとらわれないものがあれば揃っているというかたちになっています。これは特化した一部分というかたちになります。

山下教育長 エネルギー教育関係はそれでよろしいですか。

それでは次、屋内水泳プールの天井部撤去ということで14ページをご覧ください。中央公園の屋内プールも天井の一部が落下した写真がのっております。これについてももう少し補足説明をお願いします。

- 屋内水泳プールの天井部撤去について
中田課長 補足説明

山下教育長 一番上の写真お分かりですかね。更衣室から出た採暖室の上の一部が落下したということで、調べてみたら老朽化によってかなり危ないということで一番下にあるように、その部分をすべて撤去したというような状況であります。なので、応急処置的な感じでは

ね。

中田課長

そうですね、とにかく危険因子を取り除いただけです。

山下教育長

これを全部直すとなると大変な費用がかかるので、今現在は一時的に危険なところをとったということでもあります。これについてご意見、ご質問ございませんか。

それでは平成28年度6月補正予算要求については学校指導課から2件、スポーツ課から1件、教育委員会関係は以上を計上したということでこの議案第35号について賛成の方は挙手をお願いします。

委員

全委員挙手

山下教育長

全会一致で可決といたします。本日の審議事項は以上の4点であります。次からは報告事項に入りたいと思います。報告第22号の国際教育交流事業の実施について、山田次長お願いいたします。

- 報告第22号 国際教育交流事業の実施について
山田次長 資料に基づき説明

山下教育長

国際交流ですけど、一番のロボレーブ世界大会は私も一緒に行ってまいりました。上の写真は一番左の子が錦城中学校の生徒で、一番右のパソコンを触っている子が片山津中学校の生徒で、この子達は12位でした。8位までが決勝進出ということで残念ながら決勝進出とはなりませんでした。それから下の3名は金明小学校の子達で、中学生の部に入りまして、予選を3位で通過し、決勝も1位の中国だけはダントツで、ほとんどノーミスで参ったという感じでしたが、あとの3チームはその時うまくいった方が勝つという感じでした。3位決定戦に臨んで、残り5秒くらいで勝ったと思ったんですが、メキシコチームが最後にピタッとつけて、たくさんピンポン玉が入りまして、残念ながら逆転負けということでした。小学生は初めてでしたが、中学生は昨年も行きまして2回目ということで、交流会では折り鶴を折ったりとか、プレゼントするものを持って行ったりとかで、去年と比べるとかなり積極的な交流ができたかなと思います。物おじせず、英語もわからない中でよく検討したなと思います。それから2つ目の台湾嘉義大学付属小学校ですけど、音楽に非常に力を入れているという学校で、素晴らしい演奏をしてくれると思いますので、教育委員の方々もこの2日間のうちできたらどちらかに来て見ていただけたらなと思います。それから3つ目のシンガポールのSSTですけども、これはシンガポールにフューチャースクールといって国立のいわゆるエリート校が8つありまして、その中のひとつであります。サイエンステクノロジーに大変力を入れている学校であります。今も話がありましたように、12名選抜しまして、山田次長が連れて行ってくださいます。私も行った感想ですけど、やはり海外へ子どもを連れていくのは大変なことだなと感じました。アメリカに行ったのは小学生が多かったので、体調を壊した子、熱を出して1日ホテルで寝ていた子、結果的には何日後かに見つかりましたが、ロボットがなくなったとか、忘れ物をしたとか、いろんな物を壊したとか。日本だったら大したことないと思いますが、海外では気を使わないといけないことが多々ありました。そういうこともあって、今度シンガポールには中学生ですが12名連れていくと

ということで、当初は引率3名で行く予定でしたが、これは非常に危険であるということで4名にさせていただいて万全の態勢で引率をしていく予定をしております。この国際交流のアメリカ、台湾、シンガポールの件がありましたが、このことについてご意見、ご質問ございませんか。

こうやって外へ出て小学校、中学校のうちに生で英語に触れるとか、現地を見るというのは子ども達はすごく勉強になったんじゃないかなと思います。ロボットの大会に出たことよりも、異国の文化に触れたということで大変将来的にも勉強になったんじゃないかなと思います。たぶんシンガポールへ行く子ども達もいい勉強になり、そしてできるだけ英語をたくさん使って交流をしてもらえればなと思います。

この件について何かありますか。

それでは次、かがっ子土曜スクールの実施状況について山田次長お願いいたします。

● 報告第23号 「かがっ子土曜スクール」の実施状況について

山田次長 資料に基づき説明

山下教育長

今年度学校指導課の目玉の事業のひとつであります。募集をする際に果たして講師の先生方が集まるんだろうとか、小中学生が参加希望してくれるだろうかなど非常に心配をしながら始めたんですが、ご覧のように講師の先生もOBを中心にたくさんの方に出ていただきましたし、子ども達も100名近く応募がありました。非常にいいかたちでできているなと思います。これを8月までが前期、それから再度募集をしておして9月からまた後期というかたちで、後期に入ると中学生たちはもっと受験モードに入ってきますので、また数も増えてくるかなと思います。心配した土曜スクールは順調なスタートを切ったかなと感じております。

これに関してご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員

片山津と大聖寺を中心に市民会館ということで本当に人数もたくさん集まってよかったなと思っています。どの地区の方が主に来ているのかわかればまず教えてください。それから小学校は3時間10分、中学校は3時間20分と結構長い時間帯なんですけど、これで集中できていますか。途中で休憩もあると思いますが、状況もわかったら教えてください。3点目は教材はどういうかたちで準備されているのか、そこも併せて教えてください。

山田次長

まず地区についてですが、市民会館はいろんな地区から集まっています。基本は大聖寺地区の小中学生が多いですけども、ちょっと正確にはわかりませんが、いくつかの学校から集まっています。片山津地区はやはり片山津小と片山津中が中心、それに湖北、東和、山中の子もおりますし、金明の子もおります。そのような地域の近いところの小学校から集まっているということでございます。次に時間なんですけど、小学校5年から中学校3年まで、これは1時間ずつなんです。なので、9時半から10時半までが5年生、10時40分から11時40分までが6年生というかたちですべて1時間です。大変集中して行っております。教材については指導主事が持っている自作のもの、ネットで行政が作っているフリーのものもあります。そしてフリーのプリント集も出版されております。問

題の数が34回×1時間分とかなりの数になるので、しかも5年生といえども、5年生の勉強ができる子はなかなか来ないわけで、3年生くらいの教材から準備するということが大変広範にわたっておりますが、いろんなところから著作権フリーのものを集めたり、自作のものを集めたりと今は教材の数は揃っております。指導主事が大変頑張って集めておりました。以上でございます。

山下教育長

これに関して今年大聖寺地区と片山津地区でやったんですが、山代地区に関しては昨年頃から町小屋などに取り組んでくれているので、地区で見るとほとんどすべての地区の子達はどこかに行っているようなかたちです。山中の子でも片山津に行く子もいるし、大聖寺に行く子もいるし、だいたい全然来ていない地区はあまりないように感じました。

篠原委員

もう一ついいですか。指導者のことですが、2名の方がそれぞれ1時間ずつあたっていくということですね。

山田次長

例えば下の表で、5月14日小学校が梅田先生、山口先生となっておりますが、梅田先生と山口先生は5年生と6年生、2人で2時間持つということです。梅田先生も2時間、山口先生も2時間、1つの教室に2人の先生が同時にいるというかたちです。同じく中学校も3時間ずつということになっております。

篠原委員

わかりました。ありがとうございます。

山下教育長

他、ございませんか。

山下委員

片山津に意欲にかける子がいるとありますが、これは希望者に登録していただいていると思うのですが、登録は本人なのか、親御さんなのか学校の先生なのか教えてください。

山田次長

これは送迎の事もございますので、子どもの意思だけではなく、まず子どもがやる気がある、そして保護者がそれに同意するということが申込書を提出していただいて、こちらの方は申込書を出してくださった方はすべて受け入れるというようなかたちで行っております。

山下教育長

基本的に送り迎えは保護者ということですね。では、酒谷委員お願いします。

酒谷委員

1期中の途中で登録はできないんですか。

山田次長

はい、できません。

酒谷委員

希望なんですけど、山代は小学校も中学校も大きな学校を持っていますよね。できれば山代の文化会館でもやっていただけるととってもありがたいかなという気がするんですが。

山下教育長

今年は実験的というか、まず手始めに2箇所で行ってみよう。山代に関しては以前からそういう取り組みをしていただいていたので、まず2箇所で行ってみよう。これがうまくいけばまた広げていきたいなと考えています。

他、ございませんか。

中西委員

はい、今の2会場で子どもを集めた時に、受け入れは何人まで対応できますか。

山田次長

市民会館は和室を中心に、昔の寺子屋みたいに座って行っておりますので40人くらいまでならいけるかなと思います。片山津地区は2階に二つの会議室があるんです。そこに20人ずつ入れますので、今は一つの教室で十分ですけども、もし後期にたくさん来たいということになれば40人まではいけるかなと思っております。

中西委員 40、40の100名くらいまでは可能ということですね。
山田次長 そうですね。ただ先生は大変かとも思いますけども。
篠原委員 今お二人の先生がやっていますよね。今のところ10名とか20名ならなんとかかなと思います
ますが、30人、40人と増えてくると大変だと思います。だからきめ細やかな指導にならない
と思うので、そうすると指導者を増やしていかないといけないですね。例えば定員
をある程度決めて、指導者も2人で何名まで持てるのかということ、今年度様子をご
覧になった上で、次年度の取り組みに活かしていかないとと思います。

山下教育長 他、ございませんか。
それでは報告第24号福井県あわら市との「図書館資料の貸出しに関する協定」締結につ
いて前野館長お願いいたします。

- 報告第24号 福井県あわら市との「図書館資料の貸出しに関する協定」締結につ
いて

前野館長 資料に基づき説明

山下教育長 あわら市とも貸し出しの締結をするということでもあります。
これについてご意見、ご質問ございませんか。

酒谷委員 小松市と平成8年に協定を結んでおりますが、小松市と加賀市の図書館の貸し出し状況
はいかがでしょうか。

前野館長 過去5年を調べました。実利用者を報告させていただきますと、平成23年度は238人、
平成24年度は243人、平成25年度は209人、平成26年度は213人、そして昨年度は208人の
方が利用されております。

酒谷委員 これは小松市から加賀のほうにですね。

前野館長 小松市民への加賀図書館での貸し出し人数です。

山下教育長 他、ございませんか。

篠原委員 今、提携協定を結ぶとしたら、図書館管理運営規則等は変更しなくてもいいんですか。

前野館長 図書館管理運営規則第3項に館長が特に適当と認めるものと項があり、それに含めて協
定を行います。

篠原委員 了解です。ありがとうございます。

山下教育長 特に規則は変えなくていいということですね。他、ございませんか。

次の報告第25号加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2016の参加申込の開始について中
田課長お願いいたします。

- 報告第25号 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2016の参加申込の開始について
中田課長 資料に基づき説明

山下教育長 加賀温泉郷寛平ナイトマラソンについてご意見、ご質問ございませんか。

山下委員 はい、まず山中で大きなイベントをする時に一番問題な駐車場スペースの関係につ
いて、1,000人の方で400人の方が旅館ということで、600人の方が車でこられることの配

慮を、これからまた考えていただきたいなという意見でございます。もう一つ、後夜祭が山中座ということなんですけれども、これもキャパシティが非常に難しいのではないかなという思いがありましたので、再検討など、なにかしらの方法がないかと思った次第であります。3点目ですが、やはり台風の襲来の可能性があり、前回の加賀温泉郷マラソンの中止もあります。中止の判断基準について申込み規約の9番に少々書いてあるんですが、例えば何時の時点で中止の判断をします、ホームページにのせますとかいうふうな日時を確定をして、この時点で中止にしますというものが書いてあれば、1,000人いる参加者もわかりやすいかなと思われましたので、3点意見を述べさせていただきました。

中田課長

山中座の中であることを今は考えてございませんで、山中のこいこい祭りをイメージしていただいて、外のステージでいろんな芸能ですとか、芸人さんのトークショーですとか、そういった催しをしたいと考えております。荒天の場合を想定しまして、それを中であることも考えていなくて、もしできればゆーゆー館の例えばすこやかホールですとか、健民体育館ですとか、キャパ1,000人くらいは入れるようなところを、今実行委員会の中でイベント部会というものを毎月2回開催しているんですが、その中で今揉んでいく中で提案はしていこうと思っております。駐車場につきましても、400人は山中温泉だけの400人ではないので、山代、片山津も含めて今400人を確保しているということで、駐車場については、今、日本旅行さんの方も4月の大会のいろんなノウハウもありますので、そちらの方で今考えているところでございます。雨の対策についてもそういうようなかたちで何かしら場所等々を変えて開催できればなと思っております。あとは中止決定事項につきましても、当然決まっていけばホームページ等々を更新していく中で、今回はネット申込みのみということで、逆に言うともみなさんネット環境があるということですので、そちらの方で発信していけば、隅々までランナー一人一人に行き渡るとは思いませんかなと考えております。以上です。

山下教育長

他、ありませんか。それでは報告第26号全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会の開催結果について鳶崎課長お願いいたします。

- 報告第26号全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会の開催結果について
鳶崎課長 資料に基づき説明

山下教育長
篠原委員

重伝建の全国大会についてのご意見、ご質問ございませんか。
はい、まず全国大会が一番遠いところで北と南でどこら辺りから来ているのか、それから全国の重伝建地区の中で何地区の方が加賀にみえたのか。私自身も26日、27日と開催地区でガイドをしましたが、幅広く全国からみえていたんです。もしそれがわかれば教えてください。

鳶崎課長

参加都道府県としましては、北は北海道から南は沖縄まで全国から来ています。伝建地区としては110地区のうち80近くが参加しております。自治体としては確か67地区だったと思います。

篠原委員

ありがとうございます。

山下教育長 他、ございませんか。それでは報告事項が5件ありましたが、聞き忘れた等ありませんか。それではその他に入りたいと思います。平成28年4月17日の暴風と5月3日の強風による教育施設の主な被害について山本課長お願いいたします。

- 平成28年4月17日の暴風と5月3日の強風による教育施設の主な被害について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 4月17日の加賀温泉郷マラソンの日と、そしてゴールデンウィーク中の5月3日の強風による被害でございます。こうやってみますと山中から山代地区にかけて風の流れがあったのかなと推測されます。これについてご意見、ご質問ございませんか。

中西委員 これだけの箇所では物が飛んだりめくれたりしていますが、二次被害はなかったんですか。

山本課長 二次被害としては幸いありませんでした。

山下教育長 両日とも休みの日であったということで子どもに関しての被害はありませんでしたね。グラウンドの砂が舞い飛んだというような県内の地区がかなりありましたけど、加賀市ではあまり聞かれなかったですね。他、ありませんか。その他のその他で生涯学習課長崎田課長お願いいたします。

- ふるさと探検隊の実施状況について
崎田課長 資料に基づき説明

山下教育長 ゴールデンウィーク前にわけました、親子で加賀市の名所・旧跡を回るという親子スタンプラリーが予想以上に好評でありまして、すでに50件の達成者が出たということで缶バッジが間に合わず、ようやく出来上がりました。50点の記念品が、まさかこんなに早く出ると思っていなかったのが今検討中ではありますが、これに関しては教育長の部屋に呼んで表彰したいと考えております。思った以上に好評だったと、これからさらにたくさん来てくれればなと思っています。これについて何かありますか。

中西委員 冊子に簡易的な説明が並んでいますが、今から回ってスタンプを押して達成していく人が増えていく中で、もっと名所・旧跡を深く知りたいという人にネットを通じてもっと詳細な資料をわかるようにするという事は考えていますか。

崎田課長 今後検討していきたいと考えております。

山下教育長 これは個人的な思いなんですけど、今年小学生から始めたんですけど、十分大人でも使えますし、観光にも使えます。できたら来年は大人バージョンを作って観光につなげたり、あと大聖寺地区や山代地区でウォークラリーみたいなかたちで回るとか、そういうことを考えて発展的にやれたらいいなと思案中です。

他、ございませんか。

山本課長 別冊で各委員会の委員名簿を配らせていただいています。前回の定例会の時に委員さんのデータに誤りがありましたので、それを修正いたしまして、本日再度配らせていただきました。区分としましては設置要綱上、どんな観点からの選出かというのがわ

かるように項目をひとつ追加で書いております。以上です。

山下教育長 他にその他ありませんか。

では、委員さんのところに山田宗美展のチラシと招待券が入っているかと思います。

7月9日から2ヶ月間、加賀市美術館において山田宗美展が行われるということです。

これについていいですか。

それでは今日はこれで終わります。次回の日程の調整をお願いします。

山本課長 次回の日程ですが、6月末の開催を考えておりますが、6月24日午後からはご都合は
いかがでしょうか。

山下教育長 よろしいですか。

では次回、7月28日木曜日、午後3時30分からでお願いいたします。

この後は、継続審議の小中学校の規模適正化計画について、これは非公開での審議を行いますのでよろしくをお願いいたします。

ご苦勞様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。